

6月定例会での

# 一般質問



議員が自身の政策提案も含めて、市に対して考えを聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がきつとあります。

※各議員の質問の中から一項目をダイジェスト版でお知らせします。すべての質問項目や動画は、市議会ホームページで公開しています。



↑動画はコチラ

## 小手指まちづくりセンターの駐車場不足の解消を



至誠クラブ 大館 隆行

**Q** 数年前に、小手指まちづくりセンター第2駐車場を増設した。その際、当初の計画の広さの土地を買い取ることに地主も承諾していたが、市の予算の関係で、購入用地が大幅に縮小された経緯がある。買取り予定だった土地を相続した方から、市のために寄附していただいたと聞いたが、寄附者の意向を酌んで、駐車場の増設ができないか、今後の見通しを伺う。

**A** 現在、小手指まちづくりセンターでは、太陽光発電設備工事の予定があり、業者の仮設事務所の設置や作業車の駐車場の確保が必要になることから、今年度はそのような用途に使用する。今後は、寄附者の意向を踏まえた駐車場整備をはじめとして、地域や利用者の声、土地の状況などを考慮した上で、有効な活用を検討していきたいと考えている。

## 高齢者支援策として西武バスの運賃無料化を



日本共産党 矢野 由紀

**Q** 市長は、公約で高齢者のところバス・ところワゴンの運賃無料化を掲げているが、地域公共交通協議会での検討内容と今後のスケジュールはどうなっているのか。また、65歳以上の特別乗車証を西武バスでもやってほしいとの声が寄せられているが、西武バス運賃への高齢者支援策について見解を伺う。

**A** 現在、高齢者のところバス・ところワゴンの運賃無料化に向けて、市では様々な課題の整理や運行事業者をはじめとする関係機関との調整を行っているため、具体的なスケジュールは示せないが、引き続き取り組を進めていく。西武バス運賃の無料化や支援については、多額の財政負担が生じることが予想され、西武バス側の判断と協力が不可欠であることなど様々な課題がある状況であり、現状では考えていない。

## 子どもの気持ちに寄り添った対応を



自由民主党・維新・参政・無所属の会 神戸 鉄郎

**Q** 離婚した際に、子どもと別居している親が授業参観や運動会などの学校行事に参加したい場合の対応はどのようにしているのか。また、学校の保護者登録を行う場合の対応について、見解を伺う。

**A** 学校では、児童生徒の個人調査票や家庭調査票により、家庭の状況を把握している。家庭から学校行事への参加について問い合わせがあった際には、個別の状況に応じ、保護者と相談しながら対応してきた。今後も家庭からの相談に応じるとともに、子どもの気持ちや考えにも配慮しながら対応していくことが大切であると考えている。また、本市では保護者登録という制度は取っていないが、児童生徒の個人調査票や家庭調査票により、保護者を把握している。個別の家庭状況を把握する際には、両親などからの申出や相談に丁寧に応じ、適切に対応していく必要があると考えている。

## さらなる図書館の利便性の向上を



さきがけ 長谷川 礼奈

**Q** 図書館でWiFiが使えるようになりとても便利になったと、市民から喜びの声が寄せられた。令和5年6月定例会において、図書館のWiFi設置について質問した際には、財政面やセキュリティの観点から導入に至っていないとの答弁だったが、導入した経緯は。また、図書館は自学自習の場所として使用されることが多いと思うが、今後、市内の学校にWiFi設置を周知する予定はあるのか。

**A** 令和5年度に図書館電算システムをプロポーザル方式で選定する際に、システム開発業者よりWiFi設置の提案があった。予算範囲内での導入が可能で、セキュリティ対策もされており、パソコン持込席の利用を推進するため導入した。学校への周知は、現在の利用実態や通信環境の安定性などを検証し、運用に支障がないと判断できたら検討していきたいと考えている。

### 医療的ケア児の 預け先の拡充を



日本共産党  
花岡 健太

**Q** 日中一時支援施設を増やしてほしい、特に泊り医療的ケア児を預けられる施設がほとんどないといった声が寄せられている。本市には医療的ケア児を預けることができる日中一時支援施設、医療型ショートステイに対応する施設や事業所は何か所あるのか。また、今後の預け先を拡充する見込みを伺う。

**A** 医療的ケア児を預けることができる市内の日中一時支援事業所は3か所、医療型ショートステイの事業所は1か所である。これまでも事業者と拡充に向けた協議を行ってきており、近年、医療的ケア児の受入可能な放課後等デイサービスや日中一時支援事業所の増加により、日中の預かり先を拡充してきた。医療型ショートステイについては、宿泊を伴う預かりニーズに対応できるように、様々な制度の活用を研究していく。

### 大雨時の冠水への 備えの充実を



民主党  
川辺 浩直

**Q** 道路の冠水状況は、警察や市民からの通報では時間的なロスが出てきてしまふ。自治体によっては、深い浸水が予想される冠水予想箇所にセンサーを設置して、冠水による通行止めの判断に役立っている。このセンサーシステムでは、予想外の突然の雨でもリアルタイムで浸水状況を把握することができ、早期に通行止めの措置を取ることができると、設置を検討している。

**A** みてはどうか、見解を伺う。道路の浸水状況を把握する取組として、現在、国土交通省が主体で浸水センサーの設置を進める取組を行っている。本市の道路区域についても設置を検討したが、センサーの設置費用や通信費などがかるため、設置場所を提供し、県を含む民間企業や団体がセンサーを設置する方式で取組の参加を予定している。

### 手話の普及を進めるため 手話言語条例の制定を



日本共産党  
中井 めぐみ

**Q** 手話の普及が進まない根本的な要因は、手話言語を福祉政策と捉えているからではないか。手話は言語であるという文言がある共生社会条例で、社会の手話への理解が進むと考えているか、市長の見解を伺う。

**A** 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例第5条の市の責務は、福祉部門のみで行うことを求めているのではなく、あらゆる分野において行うものである。手話の社会理解を進めるためには、まずは広く市民に手話を使っていただく必要がある。手話の表現は、表情やジェスチャーを多く使うので、新鮮であり、手話でコミュニケーションが取れるとうれしく温かな気持ちにもなる。こうした体験を市民にお伝えするため、私自身、市の手話啓発動画「手話トーク」に出演する予定で、今後も広く市民の皆さんが手話に親しんでもらえるような取組を工夫していく。

### 所沢航空記念公園に スケートボード場の設置を



民主党  
秋田 孝誠

**Q** 東京オリンピックまでの若い選手の活躍をみると、所沢航空記念公園にスケートボード場の施設があれば、幼少期から取り組むことができ、将来のオリンピックも誕生するのではないかと、航空公園に人が集まることで、周辺に飲食店が増えることも期待できる。また、市内にスケートボードができる施設が少ないので、公園に施設ができれば、所沢市に移住してくる方、住み続けたいと思う方が増えるのではないかと、スケートボード場の設置するための要望書を、埼玉県に提出すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** 所沢航空記念公園へのスケートボード施設の整備については、埼玉県において所沢航空記念公園を含めた県営公園への設置に向けて検討がされていると伺っているため、いましばらくは県の動向を注視していきたいと考えている。

### 教育委員の定数について



自由民主党・維新・  
参政・無所属の会  
佐野 允彦

**Q** 教育委員の清水国明さんが、本年5月30日付けで退任された。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では教育長と4人の委員をもって組織すると定められているが、5月31日以降、法律で規定されている人数を下回った状態である。辞職について同法律には、教育長と委員は市長と教育委員会の同意を得て辞職することができるとなっているが、どのような議論を経て同意したのか。

**A** 教育委員の辞職に当たっては、市長と教育委員会の同意を要することから、本年5月30日に開かれた教育委員会会議において議案として提出した。委員からは、1人減ることに対する不安の意見もあったが、教育委員会としては、本人の辞意を尊重し、同意した。また、委員の定数を4人としているが、欠員の状態が直ちに法に抵触するものではない。

### 男性の日傘利用の普及啓発を



民主党  
荻野 泰男

**Q** 埼玉県の男性の日傘利用の普及啓発に係る取組はどういった内容か。また本市としても、暑さ対策、熱中症対策のため、男性の日傘利用の普及啓発に取り組むのはどうか、見解を伺う。

**A** 令和4年度は、埼玉県環境科学国際センターによる日傘の効果検証、SNSを利用した日傘フォトキャンペーン、ところざわサクラタウンなどの人が多く集まる施設での日傘体験会など、様々な普及啓発を行っている。市としても、日傘の利用は、暑さ対策、熱中症対策として有効なものと認識しているため、ホームページにおいて熱中症予防の観点から、男女に限らず、暑さを避ける一例として、外出時には日傘や帽子の着用を促しているところである。いづれにしても、関係団体とも連携しながら、男性を含めた日傘利用など、暑さ対策、熱中症対策の普及啓発に努めていきたいと考えている。

### 所沢駅西口ロータリー周辺の生活環境保全を



自由民主党・維新の会  
参政・無所属の会  
前田 浩昭

**Q** 所沢駅西口ロータリー周辺の歩道上に銀のベンチがあるが、この場所で毎日、数名がハトなどの野鳥に糞を返し餌やりを行っている。人がハトや野鳥に餌やりをすることで、過剰な繁殖を繰り返す、数が増えることにより、今後さらに生活環境への悪影響や健康被害が心配される。ハトや野鳥への餌やりによる周辺環境の悪化を防止するための条例を制定する考えがあるか、見解を伺う。

**A** 条例の制定については、他の動物愛護、管理との関係整理、制定内容、制定による影響、効果など様々な事項を検討する必要があるため、市としては、まずは今できる取組を進めていく。動物愛護法なども考慮し、埼玉県にも相談して、実効性のある策を検討しながら、周辺環境が悪化する餌やり行為がなくなるよう、関係部署と連携して取り組んでいく。

### 誰もが24時間利用可能なAEDの設置を



自由民主党・維新の会  
参政・無所属の会  
石原 健

**Q** 小中学校にはAEDが設置されており、児童生徒や先生を含め、万が一の急病に備えている状況である。小中学校に設置される場合、管理上の問題が大きいと思うが、曜日や時間を問わず、地域住民も利用可能な設置状況が望ましいと考えるが、今後のAEDの設置方針について、見解を伺う。

**A** これまで夜間や土曜日、日曜日などの学校が閉鎖されている時間帯は使えない状況だった。このため、緊急時には学校の利用者に限らず、地域の方も含めて、いつでもAEDを使用できるように、学校の正門付近を中心にAEDを収納するためのスタンド式の収納ボックスを順次設置して、今年度内に収納、保管できるように現在準備を進めている。今後のスケジュールだが、夏休み中には、ほとんどの学校に屋外にAEDを収納するスタンド式のボックスの設置を完了する予定である。

### ストリートピアノ事業の再開を



自由民主党  
山口 公明

**Q** 令和3年9月から始まったストリートピアノ事業だが、本年7月7日のコンサートをもって事業終了となる。市民からは再開を望む声と合わせて、再開した際には、株式会社KADO KAWAや9月にオープンするエミテラス所沢を使用しているかどうかの意見が寄せられている。設置に関して、場所や管理で協力をお願いする民間事業者と連携を密に、市がリーダーシップを発揮し、再開に向けて力を入れて取り組むべきだと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** ストリートピアノを約3年間行ってきたことで、解決しなければならぬ課題や問題も見えてきた。今後、ストリートピアノを再開する場合、商業施設の協力をいただくかなければ困難なこともあり、市としては設置可能な施設を調査するなど、再開に向け今後も検討を重ねていきたいと考えている。

### 困っている人たちに寄り添い誰もが住みやすいやさしいまちづくりを



自由民主党  
山本 由紀

**Q** 長期にわたり土地区画整理事業に多額の予算を投資してきたが、ここで北秋津・上安松地区土地区画整理事業は一区切りつく。そこで、固定資産税や都市計画税などの増収増になるプラス部分を、障がい者福祉や不登校支援などの予算に回してもらいたいと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** 子どもたちの支援については、障害の有無や通学の状況に関わらず、子どもたちが健やかに育ち、様々な力を育む環境をつくるため、必要な施策を推進している。今年度においても、誰一人取り残されない不登校児童生徒学習支援事業や、発達障害児アウトリーチ支援事業など、不登校児や障害児を支援する事業を実施する。今後の予算についても、限りある財源を有効活用すべく、その時々々の社会情勢を考慮し、障害者福祉、不登校支援を含めて、必要な行政サービスや事業にめり張りをつけた予算配分を適切に行っていく。

### RSウイルス感染症 感染予防の情報発信を



自由民主党  
大久保 隆一

**Q** 肺炎を引き起こすウイルス感染症として、今注意喚起されているのがRSウイルス感染症である。2歳までに、ほぼ100%の人が感染すると言われており、生涯を通じて繰り返す感染する可能性もあり、加齢や基礎疾患で免疫力が落ちた高齢者が感染すると、重症化して肺炎になるリスクが高まることされている。そこで、RSウイルス感染症について、疾患の周知と成人、高齢者への感染予防の注意喚起を情報発信を行っていく。

**A** 日頃から感染症に関心を持ってもらうため、ホームページにより感染症の予防に関する情報発信を行っている。また、感染症の発生が一定レベルを超えた場合には、ほつとメールで流行警報をお知らせしている。今後も、引き続き様々な感染症への注意喚起を行う中で、RSウイルス感染症について、乳幼児だけではなく成人や高齢者を含めた情報発信を行っていく。

### 小手指ヶ原公園に運動公園の整備の検討を



自由民主党・維新の会  
参政・無所属の会  
赤川 憲

**Q** 所沢カルチャーパークは運動公園として計画されていたが、敷地内にオオタカの生息が確認されたため、自然環境保全型の公園に計画を変更した。所沢カルチャーパークでは、運動公園が実現できなかったわけだが、市民から意見を聞く中で、小手指ヶ原公園に運動公園の整備を検討してもらいたいと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** 小手指ヶ原公園については、基本計画の策定から20年以上が経過している。その間、令和3年4月には、生物多様性ところざわ戦略が策定されるなど、様々な条件が変わっており、計画の改定は不可欠だと考えている。いずれにしても、事業を進める際には基本計画が前提となるが、市民や関係団体の声を聞き、協力をいただけるよう進めていきたいと考えている。



### 学校での運動時間の確保を



自由民主党・維新の会  
参政・無所属の会  
斉藤かおり

**Q** 朝の運動を習慣的に行った結果、集中力の向上、欠席日数の減少や給食の残食減少、睡眠時間の増加、不登校児童生徒の減少など、学校に行くのを渋っていた子ども笑顔を見せてくれるようになったとの報告もある。学校での運動時間の確保について、市の方向性と今後の可能性を教育長に伺う。

**A** 運動時間の確保は、子どもの体力の向上と健康の増進のみならず、学力、精神の安定にも関わる重要な課題であると考えている。一方で、近年の教職員の働き方改革が進められる中で、部活動の活動時間の縮小、体育的行事の縮小など、子どもの運動時間が大きく減少していることを危惧している。教育委員会としては、教職員に対して、体力向上や運動の大切さについて様々な場面で啓発を進めるとともに、授業での運動時間や活動する場を確保することさらに子どもの活動が損なわれないような運動部活動の改革を進めていきたい。

### 防犯灯LED化

#### 整備事業について



自由民主党・維新の会  
参政・無所属の会  
入野豊

**Q** 平成28年9月定例会で、自治会の防犯灯をLED化することについて会派から要望し、平成29年度に防犯灯LED化整備事業として、予算化が実現した。その事業の概要と現在の防犯灯LED化の達成率を伺う。

**A** 防犯灯LED化整備事業は、マチごとエコタウン所沢構想に掲げる省エネルギー推進の実現に貢献するとともに、防犯灯をLED化するにより、自治会

### ペロブスカイト型太陽光発電の推進を



自由民主党  
クラブ  
谷口雅典

**Q** 脱炭素社会への有力なゲームチェンジャーと言われるペロブスカイト型の太陽光発電の実用化が近づいてきた。そこで、今まで市が築いてきたルートを活用し、メーカーからは太陽電池を提供してもらい、市は場所（公共施設）を無償提供するという枠組みで、ペロブスカイト型太陽光発電の実証実験の実現に向けてチャレンジしてみてもどうか、見解を伺う。

**A** 有機系太陽電池の実用化を目指し、研究開発を進めていた有機系太陽電池技術研究組合と、平成27年度に協定を締結し、有機系太陽電池とLEDや蓄電池と組み合わせた誘導灯を、航空公園駅周辺に約50か所設置する実証事業に協力したことがある。ペロブスカイトをはじめとする次世代型太陽電池の導入に向けて、研究機関等から実証事業などの実施について協力の要請があった際には、できる限り協力していきたいと考えている。

### 年金生活者のUR賃貸住宅の家賃減免を



自由民主党  
小林立

**Q** UR賃貸住宅の居住者の7割が年金生活者で、家賃が家計の大部分を占めている。また、光熱費や食費、医療費が昨年より上がり、生活費を切り詰めているが、暮らしと住まいは困窮と不安の極みだと訴えている。そこで、年金で生活する低所得者の家賃減免について、UR都市機構に対し、市からも強く求めてほしいと考えるが、見解を伺う。

**A** UR賃貸住宅の家賃減免については、UR都市機構の所管事項であり、特に居住の安定に配慮が必要である低所得の高齢者世帯に対し、UR都市機構では既に、家賃改定特別措置などの家賃減額制度を実施しているとのことである。そのため、現在のところ、UR都市機構への働きかけは考えていないが、引き続き動向を注視していく。

### 読書困難者への理解と対応を



立憲リベラルの会  
末吉美帆子

**Q** 読書困難者とは、知的、視覚、聴覚に問題がないのに通常の印刷物が読みにくい方のことである。小中学校の教科書の90%をマルチメディアデジタイズしているが、令和4年度の利用者は2万人で、普及率は6%と非常に限定的なのが課題である。そこで、所沢市にも読書困難の子どもたちがいると思うが、実態を把握しているのか。また、マルチメディアデジタイズについて研修会を開催し、教職員にも理解を深めてもらいたい。

**A** 読書困難者を把握するための特別な調査は行っていないが、学校で教職員が保護者からの相談を受けたら、児童生徒を観察する中で読書に困難を感じている児童生徒を把握した場合に、個別の対応をしていく必要があると考えている。教職員へのマルチメディアデジタイズの研修については、読書困難者への理解や配慮について、研修会などで情報提供をしていく。

### 学校給食での食品ロスに向けた取組を



自由民主党  
植竹公明

**Q** 学校での食育は、食べ物に対して感謝することを学ぶ機会であり、残さず食べることで、食品や生産者、調理をしてくれた人へ感謝する心を育てることにつながる。そこで、給食を作る様子や生産者、栄養教諭の思いを描いた動画教材を作成し、その動画を各学校で鑑賞し、給食に対して新たに分かったことや、これからどうしたらいいかなどを発表する食育の授業の実施を検討してみてもどうか、見解を伺う。

**A** 単独調理校や学校給食センター、保健給食課では、児童生徒に給食への興味関心を高めるように、様々な取組を実施している。動画については、学校給食センターで調理の様子を撮影したものを給食展などの機会を捉えて流しているが、新たな動画教材を活用した食育授業については、今後内容も含めて検討していきたい。